

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

趣 意 書

会期：平成 31 年 4 月 20 日（土）

会場：東京大学 伊藤国際学術研究センター・小島ホール

共催：東京大学

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

実行委員長 医学系研究科 教授 水島 昇

実行副委員長 医学系研究科 教授 村上 誠

謹啓

時下、皆様にはおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東京大学で毎年開催されます「東京大学生命科学シンポジウム」も次回で 19 回目となりました。幸いなことに全学的行事として学内外に定着し、安定して 400～600 名の皆様にご参加いただいております。ここでは毎年、東京大学教員による最先端の研究に関する講演とともに、本学の学生や若手研究者によるポスター発表が行われます。今年度も東京大学との共催として、4 月 20 日（土）に本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センターおよび小島ホールにおいて開催し、8 部局からの講演と約 200 題のポスター発表が行われる予定です。本シンポジウムは研究者だけでなく、一般の方や学部学生・大学院生にも多く参加していただき、東京大学で行われている多彩な生命科学研究を知っていただくとともに、研究者との交流の場を提供することを目指し、「広げよう生命科学の輪 つながろう分野を超えて」という副題の下に開催することに致しました。是非ともお越しいただけますと幸甚です。

さて、大変恐縮ですが、シンポジウム開催にあたり、折り入って皆様にお願いがございます。シンポジウム開催当初（平成 13 年度）からしばらくの間は、大学本部からある程度の運営費の補助がございましたが、ネットワーク運営が大学本部から切り離された 9 年前からは、一層の自助努力を求められております。ネットワークメンバーが中心となり出版しております生命科学教科書シリーズの印税も運営費に充てて参りましたが、ネットワークに参加する 17 部局が経費を分担するとともに、多くの企業・団体様よりご協賛をいただき開催して参りました。今後とも自助努力は続ける所存ではございますが、大規模なシンポジウムとなりますゆえ、皆様にも是非、協賛金や広告（要旨集および Web サイト）を通じて本シンポジウムをご支援いただけますよう、お願い申し上げます。

東京大学の生命科学分野の研究者が一同に会する機会は稀で、私どもと致しましては、是非ともこの機会に貴社のご活動内容を本学の研究者にご紹介いただければとも存じます。

ご多用の折、誠に恐縮でございますが、本シンポジウムの趣旨にご賛同いただき、ご高配を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

2018 年 10 月吉日

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

実行委員長 水島 昇

実行副委員長 村上 誠

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム 開催概要

■ 会議名称 : 第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

「広げよう生命科学の輪 つながろう分野を超えて」

■ 会 期 : 平成 31 年 4 月 20 日 (土)

■ 会 場 : 東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター・小島ホール
(講演会場: 定員 400 人)

■ 参加者数 : 400～600 名

■ 実行委員長 : 水島 昇 (東京大学大学院医学系研究科・教授)

実行副委員長: 村上 誠 (東京大学大学院医学系研究科・教授)

■ シンポジウム内容の概要:

○各学部より選出された新進気鋭の研究者による講演

○大学院生・若手研究者を中心としたポスター発表

■ シンポジウム事務局:

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部内 生命科学ネットワーク

TEL: 03-5465-8974

E-mail: info@lsn.u-tokyo.ac.jp

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム 協賛・広告担当

東京大学大学院医学系研究科 村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

以下、募集要項、申込み用紙、昨年のシンポジウムの様子等の参考資料を添付致します。

- 収支予算案
- 協賛金および広告 (要旨集・Web サイト・講演会場スライド) 募集要項
- 協賛金申込書 (書式 1)
- 要旨集広告申込書 (書式 2)
- Web サイト広告申込書 (書式 3)
- 講演会場スライド広告申込書 (書式 4)
- 第 18 回シンポジウムの開催報告

収支予算案

収入の部

項目	備考	金額
著作権収入（見込み）		¥2,500,000
広告収入	バナー 1 ブロック 5 万円×2	¥100,000
	講演スライド 1 スライド 2.5 万×2	¥50,000
	要旨集 (4 社、A4 全面 5 万×4)	¥200,000
	要旨集 (10 社、A4 半面 2.5 万×10)	¥250,000
協賛金	一口 5 万円 × 4 社	¥200,000
	一口 2 万円 × 10 社	¥200,000
合計		¥3,500,000

支出の部

項目	備考	金額
会場使用料	伊藤学術国際研究センター・小島ホール	¥800,000
要旨集印刷費	20 ページ、1000 部	¥300,000
ポスター作成	A2, 100 枚	¥60,000
Web サイト作成	HP	¥200,000
サーバー管理	要旨受付、サーバーメンテ等	¥250,000
会場設営	ポスターパネル、立て看板、設営費等	¥1,000,000
懇談会費	伊藤学術国際研究センター	¥600,000
ポスター賞	図書カード (20 名分)	¥60,000
スタッフ謝金		¥160,000
文房具・雑費など		¥100,000
合計		¥3,530,000

協賛金 募集要項

- 会議名称 : 第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム
貴社名が要旨集、講演中のスライドに掲載されます。

- 協賛金額 : 一口 5 万円 または 一口 2 万円、一口以上より

- 募集期間 : 平成 30 年 10 月～平成 31 年 1 月 31 日

- 協賛金使途 : 講演要旨集、懇親会費用、及び、会場設営に充当する。

- 申込方法 :

別紙、協賛金申込書（書式 1）にご記入の上、下記、事務局宛に FAX もしくはメールにてお申し込み下さい。協賛金申し込み受領後、当方から寄付案内をお送りいたします。

- 法人からのご寄附の場合 :

法人が行った寄附のうち、指定寄附金（※）については、その金額を損金算入することができます。

※国立大学法人の業務に対する寄附金など、財務大臣が指定した寄附金

- お振り込み先 :

協賛金申込書受領後、当方から寄付案内をお送り致します。案内に従ってお振り込み下さい。お振り込み確認後、領収書を郵送いたします。

- 協賛申込・問い合わせ先 :

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

広告掲載 募集要項（要旨集）

- 誌 名 : 第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム
講演要旨集（シンポジウム参加者全員に配布）

- 部数・判型：1000 部 A4 版

- 広告料 : A4 1 ページ（単色） ￥ 50,000
A4 半分 （単色） ￥ 25,000

- サイズ : 1 ページ 版面 天地 267 mm 左右 180 mm
半分 版面 天地 130 mm 左右 180 mm

- 申込方法 :

別紙、広告申込書（書式 2）にご記入の上、下記、事務局宛に FAX もしくはメールにてお申し込み下さい。

- 申込期日 : 締切日・・・平成 31 年 1 月 31 日（木）

- データ送付：締切日・・・平成 31 年 2 月 15 日（金）
（詳細は次ページ、要旨集 広告制作上の注意をご覧ください。）

- 広告申込・データ送付先（問い合わせ先）：

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

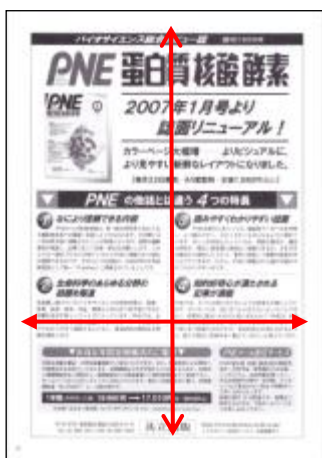
- お振り込み先：

広告申込書を受領し、広告が掲載された後、当方から広告掲載確認書類とともに請求書を郵送いたしますので、案内に従ってお振り込み下さい。お振り込み確認後、領収書を発行いたします。

要旨集への広告掲載

- ・ 広告は 1 P と 1/2 P の 2 種あります。

1 P の 場 合



版面：天地 267 ミリ
左右 180 ミリ

◆ご用意いただくもの

- 印刷データ
- 版面：267 ミリ×180 ミリ
- モノクロで制作してください。
- データはイラストレータ
(文字アウトライン済み)、
もしくはインデザイン
もしくは PDF をお願いします。
- それ以外の場合はご相談下さい。
- 紙焼でいただくことも可能です。

1/2 P の 場 合



版面：天地 130 ミリ
左右 180 ミリ

◆ご用意いただくもの

- 印刷データ
- 版面：130 ミリ×180 ミリ
- モノクロで制作してください。
- データはイラストレータ
(文字アウトライン済み)、
もしくはインデザイン
もしくは PDF をお願いします。
- それ以外の場合はご相談下さい。
- 紙焼でいただくことも可能です。

広告掲載 募集要項 (Web サイト)

■ Web ページ : 第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

<http://www.todaibio.info> (第 19 回の HP は 2018 年 11 月頃開設予定)
ホームページを閲覧した全ての研究者、一般の方に見られます。

■ 広告料	: トップページ	1 ブロック分	¥50,000
		2 ブロック分	¥100,000

■ サイズ	: 1 ブロック	218×60 ピクセル
	2 ブロック	446×60 ピクセル

■ 申込方法 :

別紙、広告申込書(書式 3)にご記入の上、下記、事務局宛に FAX もしくはメールにてお申し込み下さい。

■ 申込期日 : 締切日・・・平成 31 年 1 月 31 日(木)

■ データ送付: 締切日・・・平成 31 年 2 月 15 日(金)

(詳細は次ページ、広告制作上の注意をご覧ください。)

なお、ページ割については実行委員長にご一任頂きますようお願い申し上げます。

■ 広告申込・版下送付先(問い合わせ先):

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科
村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

■ お振り込み先:

広告申込書を受領し、広告が掲載された後、当方から広告掲載確認書類とともに請求書を郵送いたしますので、案内に従ってお振り込み下さい。お振り込み確認後、領収書を発行いたします。

■ ウェブサイト 広告制作上の注意

<http://www.todaibio.info>



公式ウェブサイトへのバナー掲載

- ・ <http://www.todaibio.info> の
トップページに御社のバナーを掲載。
- ・ ご希望のページとリンクを張ります。
- ・ 掲載スペースは2通りあります。

2 ブロックの場合

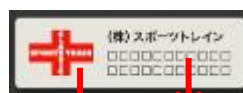


ロゴ 社名 コピー

◆ご用意いただくもの

- ロゴデータ (カラー: RGB)
- 社名日本語表記
- 社名英語表記
- コピー (19 文字×3 行=57 文字)
- リンク先のアドレス

1 ブロックの場合



ロゴ 社名+コピー

◆ご用意いただくもの

- ロゴデータ (カラー: RGB)
- 社名日本語表記
- コピー (11 文字×2 行=22 文字)
- リンク先のアドレス

広告掲載 募集要項（講演会場スライド）

- 講演名称 : 第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

講演会場スライド広告

講演の前後休憩時に流し、講演会場にいる全ての人に見られます。

- 広告料 : 1 スライド（カラー） ¥ 25,000
2 スライド ¥ 50,000

- サイズ : 1 スライド
(Microsoft Power point などの“画面に合わせる 4 : 3”相当のサイズ)

- 申込方法 :

別紙、広告申込書（書式 4）にご記入の上、下記、事務局宛に FAX もしくはメールにてお申し込み下さい。

- 申込期日 : 締切日・・・平成 31 年 1 月 31 日（木）

- データ送付 : 締切日・・・平成 31 年 2 月 15 日（金）
(詳細は次ページ、広告制作上の注意をご覧ください。)

- 広告申込・データ送付先（問い合わせ先）:

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

- お振り込み先:

広告申込書を受領し、広告が掲載された後、当方から広告掲載確認書類とともに請求書を郵送いたしますので、案内に従ってお振り込み下さい。お振り込み確認後、領収書を発行いたします。

■ 講演会場スライド広告 広告制作上の注意

講演会場メインスクリーンに、講演スライド広告を流します。（第 17 回の会場の写真）



■ スライド作成とファイル形式

Microsoft Power Point などで作成したスライドを PDF に変換したファイルと、元のスライドソフトで作成したファイル（ppt または pptx）をメールで送ってください。元のスライドソフトのファイル形式が、ppt または pptx 以外の場合は、PDF ファイルのみメールで送ってください。

FAX 送信先：
事務局 宛

書式 1

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

協賛金申込書

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム
実行委員長 水島 昇（東京大学大学院医学系研究科）殿

趣旨に賛同し、第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウムとして下記の通り協賛金を
寄付いたします。

金 円也

貴社名：_____

ご所属：_____

責任者氏名：_____

御担当者名：_____

〒

住所：_____

TEL：_____ FAX：_____

E-mail：_____

事務局：

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

FAX 送信先：
事務局 宛

書式 2

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

要旨集 広告申込書

本大会への広告申込について、下記のいずれかに印をつけ、メールか FAX にてご返送下さい。

☐ 申し込む ☐ 申し込まない

「第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム 講演要旨集」への広告を下記の通り申し込みます。

■スペース（該当箇所に印を付けて下さい）

☐ A4 1 ページ（モノクロ） ¥ 50,000

☐ A4 半分（モノクロ） ¥ 25,000

貴 社 名： _____

ご 所 属： _____

御担当者名： _____

〒

住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

版下送付予定日：平成 年 月 日頃 事務局まで送付します。

事務局：

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

FAX 送信先：

書式 3

事務局 宛

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

Web サイト 広告申込書

本大会への広告申込について、下記のいずれかに印をつけ、メールか FAX にてご返送下さい。

☐申し込む ☐申し込まない

「第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム Web サイト」への広告を下記の通り申し込みます。

■スペース（該当箇所に印を付けて下さい）

☐ トップページ	1 ブロック分	¥50,000
☐ トップページ	2 ブロック分	¥100,000

貴 社 名：_____

ご 所 属：_____

御担当者名：_____

〒

住所：_____

TEL：_____ FAX：_____

E-mail：_____

版下送付予定日：平成 年 月 日頃 事務局まで送付します。

事務局：

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

FAX 送信先：

書式 4

事務局 宛

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム

講演スライド 広告申込書

本大会への広告申込について、下記のいずれかに印をつけ、メールか FAX にてご返送下さい。

☐ 申し込む ☐ 申し込まない

「第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム 講演会場スライド広告」への広告を下記の通り申し込みます。

■スライド数（該当箇所に印を付けて下さい）

☐ 1 スライド ￥25,000

☐ 2 スライド ￥50,000

貴 社 名：_____

ご 所 属：_____

御担当者名：_____

〒

住所：_____

TEL：_____ FAX: _____

E-mail：_____

版下送付予定日：平成 年 月 日頃 事務局までメールで送付します。

事務局：

第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウム事務局 協賛・広告担当

〒113-8657 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学医学系研究科

村上 誠

TEL: 03-5841-1431, FAX: 03-5841-1434

E-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp

第 18 回 東京大学 生命科学シンポジウム 開催報告

主催：東京大学生命科学ネットワーク 共催：東京大学

会場：東京大学 駒場 I キャンパス 21KOMCEE

東京大学 生命科学ネットワークは、生命科学に関わる学内 17 部局で構成され、生命科学シンポジウムの開催や教科書作成などの活動を通じて、研究教育支援に取り組んでいる組織です。

本年も、渡邊 雄一郎 実行委員長（総合文化研究科 教授）の呼びかけのもと、平成 30 年 6 月 9 日（土）、駒場 I キャンパス 21KOMCEE にて、第 18 回 東京大学 生命科学シンポジウムが開催されました。

あいにくの梅雨空でしたが、学内外の学生・研究者・一般の方をあわせておよそ 400 名の参加がありました。2 年ぶりの駒場キャンパスでの開催ということもあり、教養学部の学生さんも多数見受けられました。

本年は、24 の企業・団体からの協賛・広告と 9 部局からの部局ブースのご協力を頂き、9 人の演者による講演会、181 演題のポスター発表会、昼食会、懇談会を行い、盛況のうちに終えることができました。ポスター発表会では審査の結果、10 部局より 20 演題が優秀ポスターに選ばれました。

来年度も引き続き第 19 回 東京大学 生命科学シンポジウムを開催する予定ですので積極的なご参加をお待ちしております。



開会の挨拶をする 村上 善則
生命科学ネットワーク長・医科学研究所長

第 18 回 東京大学 生命科学シンポジウムは村上 善則 生命科学ネットワーク長（医科学研究所 所長）の挨拶ではじまりました。挨拶では生命科学ネットワークの活動と活動の目的、本シンポジウムの意義について言及されました。本シンポジウムは東京大学で生命科学研究をしている者同士が分野・部局を超えた交流をすることにより研究活動に対するモチベーションを高める機会を作り、研究活動の支援に繋がることを目指しています。講演の終わりには、福田 裕穂 理事・副学長の「この活動を継続していくために、今後も生命科学ネットワークの活動の応援をよろしくお願い致します。」という挨拶で締めくくられました。



閉会の挨拶をする 福田 裕穂
東京大学 理事・副学長

.....

広告・協賛（50 音順）

アサヒグループホールディングス株式会社
味の素株式会社
天野エンザイム株式会社
株式会社池田理化
株式会社カーク
キッコーマン株式会社
キューピー株式会社
協和発酵バイオ株式会社
サッポロホールディングス株式会社
サントリーホールディングス株式会社
株式会社島津製作所
株式会社センシュエ科学

東京大学 創薬機構
長瀬産業株式会社
日清食品ホールディングス株式会社
日本ジェネティクス株式会社
名糖産業株式会社
ノボザイムズジャパン株式会社
株式会社日立製作所
フナコシ株式会社
株式会社プリス
株式会社 Mizkan Holdings
株式会社薬研社
株式会社羊土社

生命科学シンポジウムへのご協力、心より御礼申し上げます。

講演第一部 9:20 ~ 11:20

午前の部は4つの部局（法学政治学研究科・医学系研究科・先端科学技術研究センター・農学生命科学研究科）からの講演が行われました。

（講演の要旨は <http://www.todaibio.info/point/00.html> こちらよりご覧いただけます）

日本人の死生観を古事記まで遡って辿る、といった思想史のお話しからはじまり、最先端のイメージング技術を用いた大脳皮質の神経回路の解明、光応答性細胞接着剤を用いた細胞を操るための技術、嗅覚シグナルがどのような受容され行動につながるのかという研究など、多岐に渡る講演が行われました。

会場は常に超満員で、質疑応答の時間には数多くの質問が寄せられ、次第に会場全体が熱気を帯びてゆく様子を感じました。



苅部 直（かるべ ただし）
法学政治学研究科 教授
「日本人の死生観をめぐって」



大木 研一（おおき けんいち）
医学系研究科 教授
「大脳皮質の神経細胞集団による情報表現」



山口 哲志（やまぐち さとし）
先端科学技術研究センター 講師
「細胞を操り、調べるための道具作り」



東原 和成（とうはら かずしげ）
農学生命科学研究科 教授
「生態環境空間を制御する嗅覚シグナル」



講演会場の様子

ポスターセッション

11:30 ~ 12:30

13:30 ~ 14:30

本年は、17 部局から 181 のポスター演題が集まりました。熱心に説明する発表者、真剣に聞き入る聴衆、そして活発な議論が至る所でなされました。発表者からは「レベルが高い環境での発表が自分の成長につながりました」「同じ立場の人が多く、ディスカッションがしやすい環境でした」との意見が寄せられ、このシンポジウムが研究発表の経験の場として、また研究者・学生間の交流の場として大いに活用されていることを感じました。



ポスター会場の様子



ポスター会場の様子



ポスター会場の様子

昼食会 12:30 ~ 13:30

来場者全員が参加可能な昼食会では部局間、世代間を超えた交流が行われました。本年はポスター審査員の先生方も積極的に昼食会に参加していただき、普段はあまり交流機会のない教員と学生との交流も行われました。こういった交流を通じて、大学院生にとっては研究へのモチベーションを刺激されたことだろうと思います。また、教養学部の学生さんからは「様々な分野の先生方や大学院生とお話しができ、進路を選択する際の参考になった」との声が寄せられました。



昼食会場の様子

講演第二部 14:40～17:10

午後の部は大西実行副委員長の司会で、5つの部局（定量生命科学研究所・工学系研究科・人文社会系研究科・生物生産工学研究センター・総合文化研究科）からの講演が行われました。

（講演の要旨は <http://www.todaibio.info/point/00.html> こちらよりご覧いただけます）

腸内細菌の制御という我々の体の中の仕組みの話題からはじまり、音の振動を光イメージングにより捉えるという最先端の技術、病苦に対する共感の必要性・困難さといった誰もが一度は体験し得る課題、植物の成長の仕組み、細胞の形状や細胞にかかる力から胚発生のメカニズムを研究するという新しい切り口の研究など、多岐に渡る講演が行われました。

来場者アンケートでは、学内外の来場者から「どの講演もわかりやすく、また内容もとても興味深く、感心しました。来年も是非参加したいです」という感想を多数いただきました。



司会をする 大西 康夫 実行副委員長
農学生命科学研究科 教授



新藏 礼子（しんくら れいこ）
定量生命科学研究所 教授
「腸管 IgA 抗体による腸内細菌の
制御の解明と応用」



中川 桂一（なかがわ けいいち）
工学系研究科 講師
「音と光で創る医療技術」



早川 正祐（はやかわ せいすけ）
人文社会系研究科 特任准教授
「病いの語りと共感の困難さ」



柳澤 修一（やなぎさわ しゅういち）
生物生産工学研究センター 教授
「植物の栄養環境適応：最適成長の
ための巧妙な仕組み」



道上 達男（みちうえ たつお）
総合文化研究科 教授
「細胞の張力と形から胚発生を
考える」



講演会場の様子

懇談会 17:30 ~ 19:00

懇談会では村上ネットワーク長・渡邊実行委員長の挨拶の後、優秀ポスター賞授賞式も行われ、181 のポスター演題から 20 の優秀ポスター賞が選ばれました。優秀ポスターは参加した 17 部局中 10 部局（医学系研究科・農学系研究科・薬学系研究科・理学系研究科・総合文化研究科・工学系研究科・情報理工学研究科・新領域創成科学研究科・医科学研究所・先端科学技術研究センター）の発表者から選ばれ、それぞれの研究科が切磋琢磨しており、東京大学全体の研究レベルをより高いものに行っているということを伺い知ることができました。



懇談会で挨拶をする 渡邊 雄一郎
実行委員長・総合文化研究科 教授



懇談会で挨拶をする 村上 善則
生命科学ネットワーク長・医科学研究所長



懇談会場の様子

優秀ポスター賞受賞者

森泉 寿士	医科学研究所
中村 毅	農学生命科学研究科
梅谷 実樹	総合文化研究科
小倉 尚晃	農学生命科学研究科
峰 翔太郎	新領域創成科学研究科
西田 純	医学系研究科（付属病院）
塩田 裕介	先端科学技術研究センター
小島 寛人	薬学系研究科
松岡 真生	農学生命科学研究科
戸塚 隆弥	理学系研究科
岩瀬 晃康	医学系研究科（付属病院）
菅原 康平	農学生命科学研究科

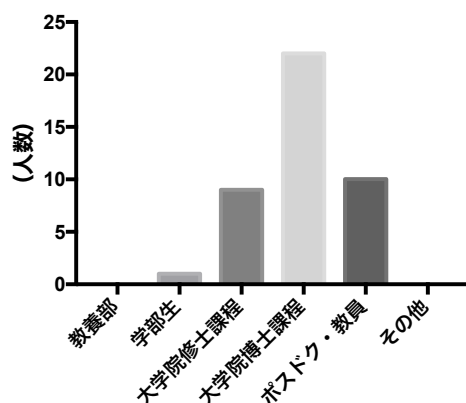
笠原 良太	領域創成科学研究科
横沢 匠	理学系研究科
西田 達	医学系研究科（付属病院）
神田 侑季	医学系研究科（付属病院）
Kanuganti Jaya Sanjana	工学系研究科
隈本 宗一郎	医科学研究所
永野 雄大	情報理工学系研究科
齊藤 友理	薬学系研究科



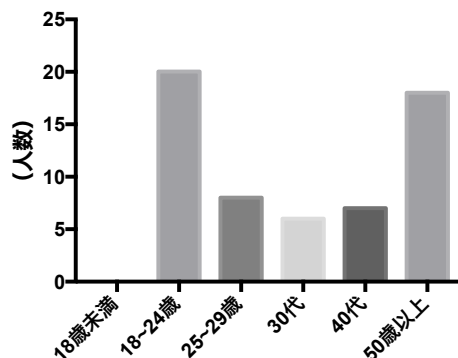
集合写真

発表者・来場者アンケート集計結果

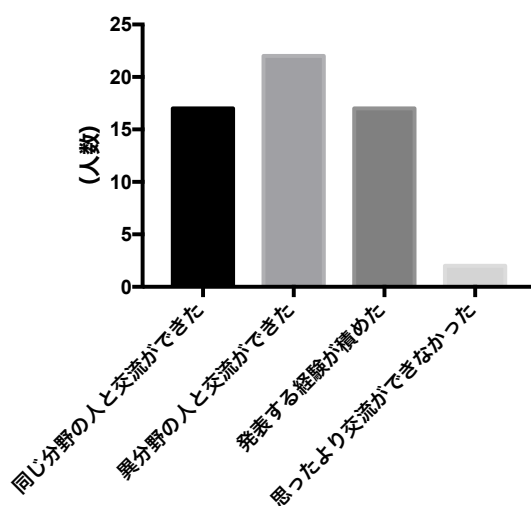
発表者の身分



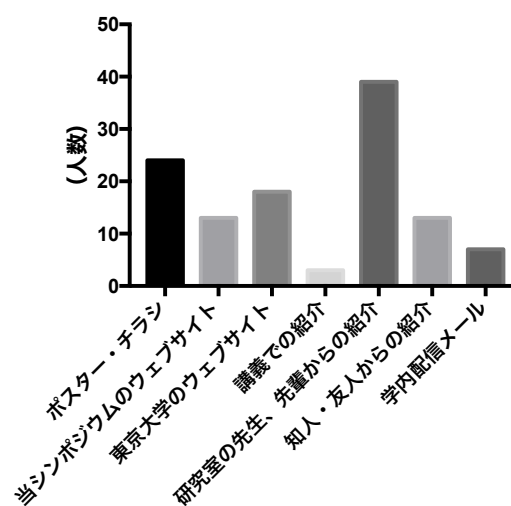
一般来場者の年齢



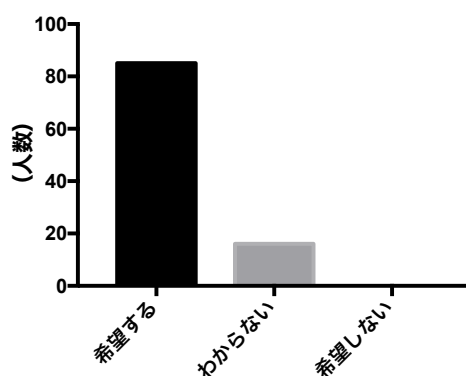
発表した感想



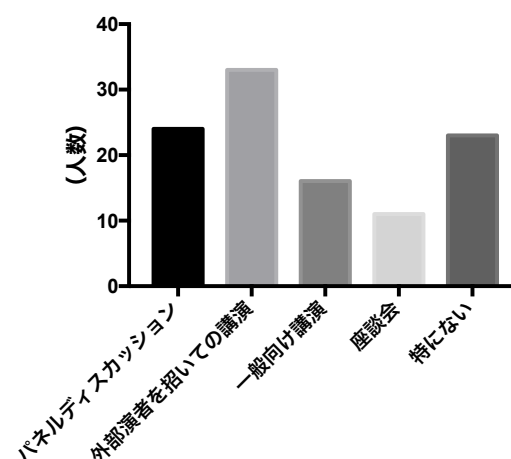
発表・来場のきっかけ



来年度も生命科学シンポジウムの開催を希望するか



次回取り上げて欲しい企画



アンケートの結果、84%の方が来年度も生命科学シンポジウムを開催を希望する、とお答えいただき、本シンポジウムが生命科学研究者間の部局横断的な交流や、一般の方々に生命科学への関心を持っていただくきっかけとなった感じ、大変うれしく思っています。

最後に、本シンポジウムを開催するにあたり、ご講演いただいた講演者の皆様、講演座長、ポスター審査員の皆様、そして協賛・広告の掲載をいただきました団体・企業の皆様に深謝いたします。

.....
文責・問い合わせ先

東京大学 生命科学ネットワーク 運営事務局 info@lsn.u-tokyo.ac.jp

駒場1キャンパス 17号館1階